

口カモメのジヨナサン 感想文

浅井 優子

この本で二冊目の要約をしたのですが、前回の口人間の格口とこの本では、哲学と小説という部類は違っています。内容的には似ている部分が多くあつたと思います。この本の中で大切な事は、まず第一に勉強や研究や努力を惜しまない事です。ジヨナサンは、食べる事も忘れて練習に明け暮れた事で、人並み外れた成長を遂げる事が出来ました。周囲

からは、その努力が見えないので、特別な人間と思われがちですが、それまでの道のりがあつて初めて、神格化された飛び抜けた飛行術のジヨナサンがいたのです。

二つ目は、完全なるものを追いつける事。完全なるものには限界はなく、成長し続ける事が出来ると言う事。人間の格でも、常に上を目指して努力し続けろ事とありました。また、自分で限界を決めず、無限の可能性があると信じて、心から思い行動する事が大切だ



す。ついでに「私なんか」とか、すごい人は部類が違ふのだと思つてしまいがちですが、それは自分の成長を止めてしまっています。

そして、表面ではなく本質を見極める事。

目に見えるものではなく、目に見えない本質を理解するということ事です。しかし私は単純なので、まだこの本質を見るという部分がいまいちピンときておりません。これから本質を見極められるよう意識して参ります。

また、ジョナサンの飛行法の訓練でもありましたが、大事なのは飛行の方法やテクニックではなく、精神面での成長というのがとても大切とありました。

以前先生にお話し頂いた時も、肌改善の為にダイヤのかけ方や、フラシの洗浄など教えて頂いたとしても、それを理解できるだけの知識と人間力がなければ、そこで終わってしまいます。また、ジョナサンの愛の話で、自分だけの事を考えるのではなく、カモメ全体の事を考えていける所に、大きな愛を感じま

した。フレツチャーが、殺されかねない相手の手助けをするなんてありえないという所で愛とは全てを受け入れて、寛大な心で周りの人の為に動くという事が、ジヨナサンの言う愛なんだと思います。広い視野で物事をとらえて参ります。

今回も、このような機会を与えて下さり、ありがとうございます。